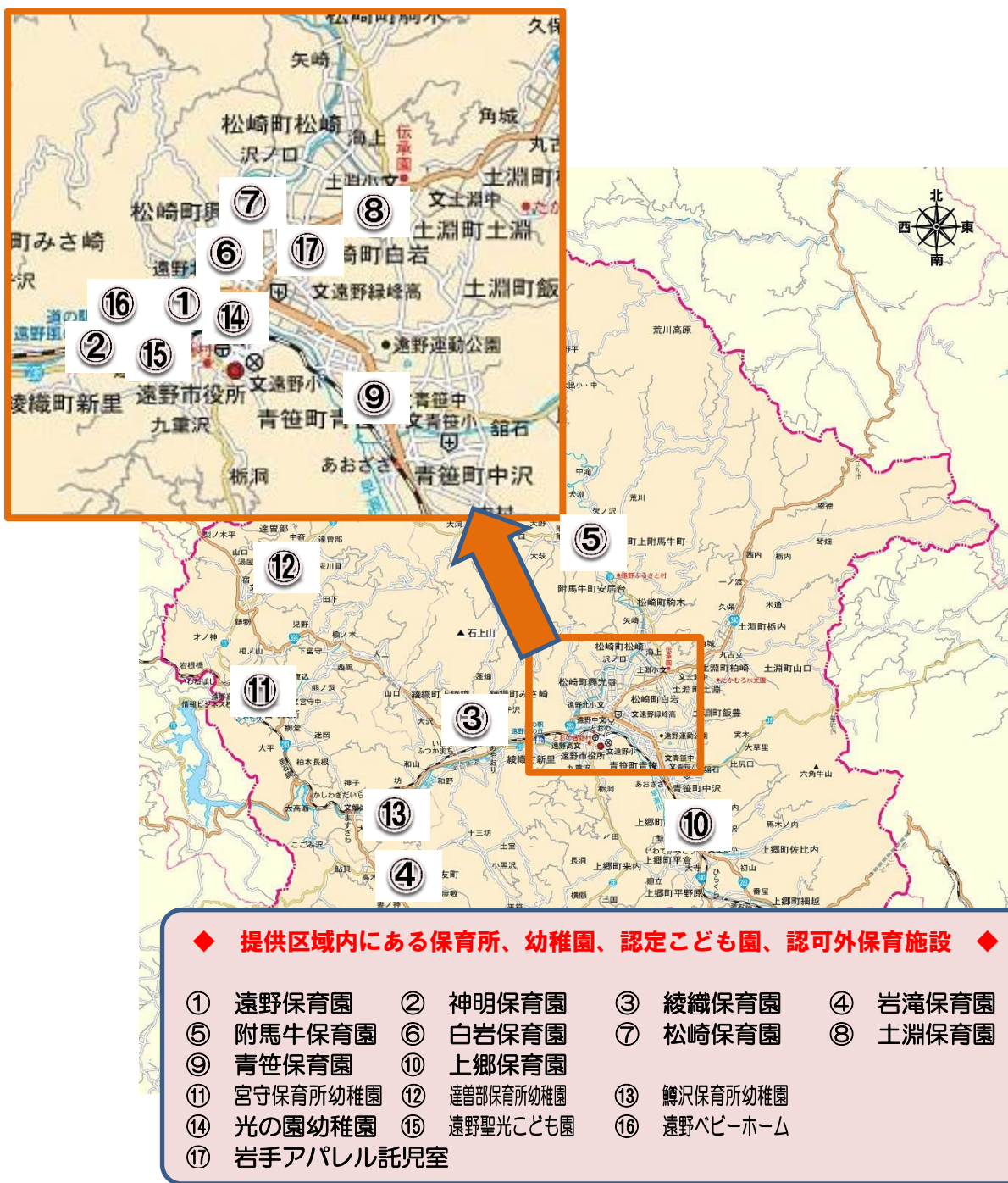


第3章 子ども・子育て支援事業計画

1 教育・保育の提供区域の設定

これまで、次世代育成支援行動計画などにおいては、市域全体をひとつの目安として保育や子育て支援サービスの整備を図ってきました。

子ども・子育て支援新制度以降においても、保護者の就労環境や送迎者の現状を踏まえ、教育・保育提供区域を1区域（全市）と設定し、地域子育て支援拠点事業や、一時預かり事業、延長保育事業などの地域子ども・子育て支援事業においても共通の設定として1区域とします。



2 将来の子ども人口（子ども人口の推計）

本市の子ども人口の推計について、0～5歳では平成26年度の1,156人から平成31年には1,052人と推計され104人（9.0%）の減少が予測されています。

また、6～11歳においても平成26年度の1,308人から平成31年には1,138人と推計され170人（13.0%）の減少が予測されています。

表 子ども人口の推計

年齢		年度					
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
0～11歳		2,464	2,391	2,342	2,295	2,265	2,190
年齢区分	0歳	179	173	169	166	162	158
	1歳	186	183	180	176	173	169
	2歳	194	198	187	184	180	177
	3歳	188	190	196	185	182	179
	4歳	193	184	191	198	186	183
	5歳	216	192	184	191	197	186
	0～5歳	1,156	1,120	1,107	1,100	1,080	1,052
	6歳	194	209	190	181	188	195
	7歳	247	189	207	188	179	187
	8歳	193	238	186	204	185	177
	9歳	214	195	241	188	206	187
	10歳	230	216	194	239	187	205
	11歳	230	224	217	195	240	187
6～11歳		1,308	1,271	1,235	1,195	1,185	1,138

資料：平成26年度は、平成26年3月31日現在の住民基本台帳の数値を使用。

平成27年度以降は、平成26年1月20日付け内閣府子ども・子育て支援新制度施行準備室で出された「市町村子ども・子育て支援事業計画における「量の見込み」の算出等のための手引き」に従って算出された「推計児童数」です。

3 認定区分

教育・保育の必要量は、認定区分ごとに見込むこととされているため、1号、2号及び3号の認定区分ごとに分けて算出しました。

認定区分	対象者	利用先
1号認定	幼児の教育を希望させる、3歳以上の小学校就学前子ども	幼稚園 認定こども園
2号認定	「保育の必要な事由」※に該当し、保育所・認定こども園での保育を希望している、3歳以上の小学校就学前子ども（以下「2号認定」と表記）	保育所 認定こども園
3号認定	「保育の必要な事由」※に該当し、保育所・認定こども園等での保育を希望している、3歳未満の小学校就学前子ども（以下「3号認定」と表記）	保育所 認定こども園 地域型保育事業

※ 「保育の必要な事由」とは、就労（フルタイム、パートタイム、夜間、居宅内労働など）、妊娠・出産、保護者の疾病・障がい、同居又は長期入院をしている親族の介護・看護、災害復旧、求職活動、就学、虐待やDVのおそれがあること、育児休業取得中に既に保育を必要としている子どもがいて継続利用が必要であること、その他市町村が認める場合をいいます。

なお、本市では、新制度移行後下限時間を48時間に設定します。

4 幼児期の教育・保育の量の見込みと確保方策

量の見込みについては、国の示す手引きによって、平成26年1月に実施した「わらすっこニーズ調査」の結果を基に、認定区分ごとの量の見込みを算出しました。

確保方策については、以下の表のとおり市内の保育施設等において供給することとしており、平成29年度までに、施設の認可定員等の変更を行うなど、ニーズを見極めながら供給体制の確保に努めます。

(1) 量の見込み

(単位：人)

		H26 実績	H27	H28	H29	H30	H31
1号		113	95	97	97	95	93
2号		480	447	451	453	446	433
3号	0歳	119	138	134	132	129	126
	1、2歳	301	321	309	303	297	291
合計		1,013	1,001	991	985	967	943

(2) 確保数

(単位：人)

	名称		H26 実績	確保数（1、2及び3号含む）				
				H27	H28	H29	H30	H31
こども園 認定	私立	遠野聖光 こども園	66	123	123	123	123	123
幼稚園	私立	光の園幼稚園	53	140	140	140	140	140
	市立	宮守幼稚園	20	30	30	30	30	30
		達曽部幼稚園	5	20	20	20	20	20
		鱒沢幼稚園	2	20	20	20	20	20
保育所	私立	遠野保育園	120	110	115	115	115	115
		神明保育園	96	90	90	90	90	90
		綾織保育園	62	60	60	60	60	60
		岩滝保育園	34	40	40	40	40	40
		附馬牛保育園	35	40	40	40	40	40
		白岩保育園	116	110	110	110	110	110
		松崎保育園	67	60	60	60	60	60
		土淵保育園	72	80	80	80	80	80
		青笹保育園	102	100	100	100	100	100
	上郷保育園	54	50	50	50	50	50	
	市立	宮守保育所	56	65	65	65	65	65
		達曽部保育所	26	30	30	30	30	30
		鱒沢保育所	16	30	30	30	30	30
保育施設 認可外	私立	遠野ベビー ホーム	6	15	15	15	15	15
		事業所内託児 岩手アパレル託 児室	5	10	10	10	10	10
合計			1,013	1,223	1,228	1,228	1,228	1,228

(3) 保育・教育施設の利用率

(単位：人)

			H26 実績	H27	H28	H29	H30	H31
1号	3歳 ～ 5歳	入所児童数	113	95	97	97	95	93
		対象年齢						
		人口数	597	566	571	574	565	548
		割合	18%	16%	16%	16%	16%	16%
2号	5歳	入所児童数	480	447	451	453	446	433
		対象年齢						
		人口数	597	566	571	574	565	548
		割合	80%	78%	78%	78%	78%	79%
3号	0歳 (新生児0歳 と満年齢0歳 の2年度分が 含まれる)	入所児童数	119	138	134	132	129	126
		対象年齢						
		人口数	352	342	335	328	320	312
		割合	33%	40%	40%	40%	40%	40%
	1、2歳	入所児童数	301	321	309	303	297	291
		対象年齢						
		人口数	380	381	367	360	353	346
		割合	79%	84%	84%	84%	84%	84%

注：平成26年度実績の数値は以下のとおり

「入所児童数」

平成27年3月1日現在で確定した平成26年度末の実数

「対象年齢人口数」

将来の子ども人口の推計による推計数値

0歳児の「対象年齢人口数」の考え方

実際の保育所等における0歳児クラスは、その年度に誕生した新生児の0歳児と、その年度の4月1日現在の0歳（その年度に1歳に到達する0歳）の2年度分の児童が在籍するため、その年度の0歳児数に翌年度の0歳児数を加えた数値とする。

なお、平成31年度の312人の算定根拠は、平成31年度の0歳の人口推計数158人に、平成32年度の出生推計「154人」（H26からH31までの0歳児の平均減少率（△2.4%）を乗じて得た数値）を加えた数値である。

(1) 3歳以上の子ども

ア 1号認定（幼児教育を希望する子ども）

3歳以上の子どもで、教育を希望する子ども（1号認定）については、現状の幼稚園、認定こども園で確保します。

（単位：人）

区分		年度	26年度 (実績)	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
		① 量の 見込	1号 認定	学校教育のみ	59	60	61	61
預かり保育あり	54			35	36	36	35	34
計			113	95	97	97	95	93
② 確保 方策	幼稚園（特定教育・保育施設）	/		70	70	70	70	70
	認定こども園（特定教育・保育施設）		30	30	30	30	30	
	確認を受けない幼稚園		140	140	140	140	140	
	計		113	240	240	240	240	240
確保方策の内容			幼稚園		認定こども園			
			【幼稚園】 市立3園 宮守、達曽部、鱒沢幼稚園 市立の3園については、地域のニーズと、入園数とのバランスを見極め、民営移管について検討していきます。		【認定こども園】 私立1園 認定こども園めぐみ 遠野聖光こども園 市内で唯一の認定こども園として、学校教育と保育の一体的な提供を行っています。			
			【確認を受けない幼稚園】 私立1園 光の園幼稚園 新制度の移行や、認定こども園への移行について、運営法人の意向を踏まえながら検討を進めます。					

※1 特定教育・保育施設

市町村から「施設型給付」の対象となると確認された施設

※2 確認を受けない幼稚園

現行の私立幼稚園は、別段の申出を行わない限り「施設型給付」の対象として市から確認を受けたものとみなされ、「施設型給付」の対象となります。しかし、「確認を受けない」と申出を行った幼稚園は、現行のまま私学助成及び就園奨励費補助が継続されます。

イ 2号認定（保育を必要とする子ども）

3歳以上の子どもで、保育を必要とする子ども（2号認定）については、現状の認定こども園、保育所において確保します。

（単位：人）

区分		年度	26年度 (実績)	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
①量の見込み（保育所）			480	447	451	453	446	433
計			480	447	451	453	446	433
②確保 方策	保育所 (特定教育・保育施設)			488	481	481	481	481
	認定こども園 (特定教育・保育施設)			60	60	60	60	60
	認定外保育施設			0	0	0	0	0
	計			548	541	541	541	541
②-①				101	90	88	95	108
確保方策の内容		保育所			認定こども園			
		<p>【保育所】 市立3園 宮守、達曽部、鱒沢保育所 市立の3園については、保育のニーズが高まっている宮守保育所について定員変更を行い、受入規模の拡大を図ります。 また、民営移管について検討していきます。</p> <p>私立10園 遠野、神明、綾織、岩滝、附馬牛、白岩、松崎、土淵、青笹、上郷保育園 今後5年間は、一定の定員数を確保しながら、入所児童数の動向を見極め、今後の定員変更について検討します。</p>			<p>【認定こども園】 私立1園 認定こども園めぐみ 遠野聖光こども園 市内で唯一の認定こども園として、学校教育と保育の一体的な提供を行っています。 市街地における保育ニーズの高さに対応するため、一定の定員数を確保します。</p>			

(2) 3歳未満の子ども

3歳未満の子どもについては、定員規模の拡大を図り、平成29年度には必要量を確保できるよう努めます。

【0歳児】

(単位：人)

区分		年度	26年度 (実績)	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
①量の見込み(保育所)			119	138	134	132	129	126
計			119	138	134	132	129	126
②確保方策	保育所 (特定教育・保育施設)			103	115	115	115	115
	認定こども園 (特定教育・保育施設)			9	9	9	9	9
	認定外保育施設			8	8	8	8	8
	計			120	132	132	132	132
②-①				△18	△2	0	3	6
確保方策の内容		保育所			認定こども園			
		<p>【保育所】 市立3園 宮守、達曽部、鱒沢保育所 市立の3園については、保育のニーズが高まっている宮守保育所について定員変更を行い、受入規模の拡大を図ります。 また、民営移管について検討していきます。</p> <p>私立10園 遠野、神明、綾織、岩滝、附馬牛、白岩、松崎、土淵、青笹、上郷保育園 ニーズ調査によると、平成27年度の138人をピークに微減傾向の結果となっていることから、市街地における保育ニーズの高さに対応するため、平成28年度に遠野保育園の定員変更を行い、受入規模の拡大を図ります。</p>			<p>【認定こども園】 私立1園 認定こども園めぐみ 遠野聖光こども園 市内で唯一の認定こども園として、学校教育と保育の一体的な提供を行っています。 市街地における保育ニーズの高さに対応するため、一定の定員数を確保します。</p>			

【1、2歳児】

(単位：人)

区分		年度	26年度 (実績)	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
①量の見込み(保育所)			301	321	309	303	297	291
計			301	321	309	303	297	291
② 確保 方 策	保育所 (特定教育・保育施設)			274	274	274	274	274
	認定こども園 (特定教育・保育施設)			24	24	24	24	24
	認定外保育施設			17	17	17	17	17
	計			315	315	315	315	315
②-①				△6	6	12	18	24
確保方策の内容		保育所			認定こども園			
		<p>【保育所】 市立3園 宮守、達曽部、鱒沢保育所 市立の3園については、保育のニーズが高まっている宮守保育所について定員変更を行い、受入規模の拡大を図ります。 また、民営移管について検討していきます。</p> <p>私立10園 遠野、神明、綾織、岩滝、附馬牛、白岩、松崎、土淵、青笹、上郷保育園 ニーズ調査によると、平成27年度の321人をピークに減少傾向の結果となっていることから、市街地における保育ニーズの高さに対応するため、平成28年度に遠野保育園の定員変更を行ない、受入規模の拡大を図るとともに、神明、白岩保育園における1,2歳児の定員変更を検討します。</p>			<p>【認定こども園】 私立1園 認定こども園めぐみ 遠野聖光こども園 市内で唯一の認定こども園として、学校教育と保育の一体的な提供を行っています。 市街地における保育ニーズの高さに対応するため、一定の定員数を確保します。</p>			

5 地域子ども・子育て支援事業の量の見込みと確保方策

量の見込みについては、教育・保育と同様に、原則、国から示された「算出の手引き」に従って推計しました。ただし、基本指針においても「地域の実情に合わせて見込むことが可能」とされていることから、国手引きによる量の見込みが実態と大きく乖離した場合の確保量は、過去の実績値等から算出しました。

(1) 地域子育て支援拠点事業

主に3歳未満の児童及び保護者を対象に、公共施設や保育所等の地域の身近な場所で、育児不安などについての相談・指導、子育てサークル等への支援、子育てに関する情報提供、育児講習等の事業を行い、地域の子育て家庭に対する支援を行う事業です。

【現状】

平成26年4月現在、遠野地域子育て支援センター「まなざし」の1施設において実施しており、平成25年度利用実績は294日（1月あたり24.5回）開設し、2,161人（1日あたり7.35人）となっています。

また、遠野地域子育て支援センター「まなざし」が中心となって各地域に出向き、実施する親子サークル事業においては、平成25年度利用実績は162日（1月あたり13.5回）開設し、1,124人（1日あたり6.93人）となっています。

今後は、認定こども園めぐみ遠野聖光こども園内においても実施が検討されており、市内では合計2カ所で実施されることが見込まれます。

【量の見込みと確保量】

（単位：人回／月）

	25年度 (実績)	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
①量の見込み	1カ所 273	809	783	768	752	736
②確保量		2カ所 300	2カ所 300	2カ所 300	2カ所 300	2カ所 300

【確保方策】

ニーズ調査結果から算出された量の見込みは、実際と比較して乖離がみられます。

確保量は実績に応じ、また、遠野聖光こども園で開設される予定（現在の遠野聖光カンガルークラブの親子サークルの拡充分）を見込んで設定します。

(2) 妊婦健診事業

母子健康法第13条の規定により、遠野市に住所を有する妊婦を対象に、安心して妊娠・出産を迎えることができるように、妊婦の健康診査にかかる費用の一部を助成し、経済的な負担を軽減する事業です。

【現状】

県内の医療機関に委託して実施しており、平成25年度実績で実人数178人となってい

ます。

○妊婦一般健康診査 14回以内（妊婦一人につき助成券を 14枚交付）

- ・梅毒血清反応検査・子宮頸がん検診（細胞診）
- ・B型肝炎抗原検査・C型肝炎抗体検査
- ・H I V抗体検査・風疹ウイルス抗体検査
- ・妊婦超音波検査・妊婦歯科健康診査
- ・HTLV-1抗体検査・GBS検査
- ・性器クラミジア検査

【量の見込みと確保量】

（単位：人／年）

	25年度 (実績)	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
①量の見込み	178	169	166	162	158	154
②確保量		169	166	162	158	154

【確保方策】

子どもの人口の推計から、0歳児推計数で量の見込み及び確保量を算出しました。

提供する体制はできており、今後は受診率の向上に努めます。

(3) 乳児家庭全戸訪問事業（こんにちは赤ちゃん訪問）

生後1ヵ月前後の乳児のいる全家庭を、市の助産師・保健師等が訪問し、子育て支援に関する情報提供や教育環境等把握を行うほか、養育についての相談に応じ、助言その他の援助を行う事業です。

【現状】

「出生届」を提出した方を対象に、市の助産師・保健師等の専門職が乳児のいる家庭を訪問し、お母さんと赤ちゃんの様子、養育についての相談に応じ、助言その他の援助を行っています。平成25年度実績では 178人に実施しています。

【量の見込みと確保量】

（単位：人／年）

	25年度 (実績)	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
①量の見込み	178	173	169	166	162	158
②確保量		173	169	166	162	158

【確保方策】

提供体制は現状で確保できているため、今後は、訪問率 100%をめざします。

(4) 養育支援訪問事業

養育支援が必要な家庭を訪問して、保護者の育児、家事等の養育能力を向上させるために

支援を行う事業です。

【現状】

乳児家庭全戸訪問事業（こんにちは赤ちゃん訪問）の面談等により、子育てに対して不安や孤立感を抱える家庭又は虐待の恐れやリスクを抱える家庭を把握し、助産師等が訪問・相談指導を行っており、平成25年度実績は 32件（実件数）に訪問しました。

【量の見込みと確保量】

（単位：箇所／年）

	25年度 (実績)	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
①量の見込み	32	32	32	32	32	32
②確保量		32	32	32	32	32

【確保方策】

提供体制は現状で確保できているため、関係機関と連携して養育支援が必要な家庭の把握に努め、事業の利用につなげていきます。

(5) ファミリー・サポート・センター事業（子育て援助活動支援事業）

乳幼児や小学生の児童を有する子育て家庭を対象に、育児の支援をお願いしたい人（おねがい会員）と、育児の援助を行いたい人（あずかり会員）が会員登録をし、会員相互間で育児の援助を行う事業です。

【現状】

平成26年度末現在、市では事業を実施していません。しかしながら、ニーズ調査結果では一定のニーズが見込まれていること、また、子育て中の保護者からの要望や、わらすっこ支援委員会での意見もあることから、事業実施に向けて検討していきます。

【量の見込みと確保量】

（単位：人日／年）

	25年度 (実績)	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
①量の見込み	0	201	195	189	186	180
②確保量		18	195	189	186	180

【確保方策】

利用件数を増やすためには、あずかり会員の確保が必要となることから、各地区の主任児童委員等を中心に、継続的にファミリー・サポート・センター事業についての情報提供を行い、理解を図ることで確保します。

(6) 一時預かり事業

① 幼稚園における在園児を対象とした一時預かり（1号認定）

幼稚園が在園児を対象に、通常の教育時間の終了後や、長期休業中に教育活動を行う

事業で、現在の「預かり保育」です。今後、幼稚園が認定こども園に移行して保育認定を受けた子どもを受け入れ、施設型給付を受けることになるものを除き、新制度においては、一時預かり事業として実施されます。

【現状】

平成25年度実績において、全ての幼稚園（認定こども園の幼稚園児含む）で実施しています。

【量の見込みと確保量】

（単位：人日）

	25年度 （実績）	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
①量の見込み	252	186	187	188	185	180
②確保量		186	187	188	185	180

【確保方策】

これまで預かり保育を利用していた幼稚園児が2号認定へ移行していることや、幼児教育児童希望の児童が減少している現状から、ニーズ量の見込みよりもさらに減少することが予想されますが、実績から今後の量の見込みを確保できます。

② 幼稚園における在園児のうち、定期的な一時預かり希望（2号認定）

上記①以外の園児で、定期的に預かり保育を利用している子どもが対象です。

今後は、認定こども園又は保育所で2号認定こどもに移行する可能性が高い園児になります。

【現状】

平成25年度実績において、全ての幼稚園（認定こども園の幼稚園児含む）で実施しています。

【量の見込みと確保量】

（単位：人日）

	25年度 （実績）	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
①量の見込み	7,200	9,488	9,572	9,622	9,471	9,186
②確保量		7,200	7,200	7,200	7,200	7,200

【確保方策】

ニーズ調査においては、実績と比較して大きな乖離がみられ、実際よりも多く見込まれています。

児童の多くは認定こども園や保育所での2号子どもへ移行することが予想されます。確保量はこれまでの実績に応じ、推移を見守りながら、適宜、確保策に努めます。

③ 保育所や地域子育て支援拠点事業などにおいて実施される一時保育事業

保護者の病気等により家庭において一時的に保育を受けることが困難となった児童

を、保育所や地域子育て拠点事業などで受け入れ、保育を行う事業です。

【現状】

平成25年度実績において、市内すべての保育所、地域子育て支援センター「まなざし」で実施しており、実績は 79人日となっています。

【量の見込みと確保量】

(単位：人日)

	25年度 (実績)	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
①量の見込み	79	3,904	3,855	3,828	3,757	3,660
②確保量		79	79	79	79	79

【確保方策】

ニーズ調査においては、実績と比較して大きな乖離がみられ、実際よりも多く見込まれています。

確保量は平成25年度の実績に応じて、推移を見守りながら、適宜、確保策に努めます。

(7) 時間外保育事業（延長保育）

保育認定を受けた児童について、保護者の就労時間等により、保育所等における 11時間の開所時間を超えて、保育時間の延長を行う事業です。

【現状】

平成25年度の実績では、市内のすべての保育所において延長保育を実施していますが、そのうち国の補助金対象となる園は、遠野、白岩、青笹保育園の 3園で、利用実績は 65人（実人数）です。

【量の見込みと確保量】

(単位：人)

	25年度 (実績)	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
①量の見込み	65	458	452	450	441	430
②確保量		256	256	256	256	256

【確保方策】

ニーズ調査においては、実績と比較して大きな乖離がみられ、実際よりも多く見込まれています。

平成25年度実績において、遠野、白岩、青笹保育園が国の補助金対象園となっていますが、延長保育の実施はすべての園で行われています。1園あたり平均 21.6人（実数）とした場合、平成27年度以降の確保量は上記のとおりとなります。（利用定員数が 50人未満の園は 10人と試算）

今後は、利用実態と施設の職員体制の状況を見極めながら、拡大等を検討します。

(8) 病児・病後児保育事業

児童が発熱等の急な病気になった場合に、病院・保育所等に付設された専用スペースにおいて、看護師等が一時的に保育を行う事業です。

【現状】

平成26年度現在、岩手県及び県立遠野病院の協力により、市が実施しています。

定員は1日 3人、対象は生後6ヵ月から小学校6年生の児童となっており、平成25年度利用実績は延べ 553人となっています。インフルエンザ等の感染症の流行により、利用者数の増減があります。

【量の見込みと確保量】

(人日)

	25年度 (実績)	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
①量の見込み	1カ所 553	2,308	2,281	2,267	2,225	2,168
②確保量		1カ所 559	1カ所 559	1カ所 559	1カ所 559	1カ所 559

【確保方策】

ニーズ調査においては、実績と比較して大きな乖離がみられ、実際よりも多く見込まれています。

確保量については、平成22年度開設以来、この4年間で最も利用が多かった平成24年度の実績値である、年間延べ 559人で確保量を見込みます。

なお、今後は推移を見守りながら、適宜、確保策に努めます。

(9) 放課後児童健全育成事業（放課後児童クラブ）

共働き家庭など留守家庭の児童に対し、放課後や長期休業中に市内 11カ所（すべての小学校区に 1カ所設置）にある児童館・児童クラブを活用し、適切な遊びや生活を提供し、児童の健全育成を図る事業です。

【現状】

平成25年度の実績では市内 11カ所で実施し、992人の児童が登録して平均 267日開館し、無料で学童保育を行っています。

【量の見込みと確保量】

(人日)

	25年度 (実績)	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
①量の見込み (人日)	登録実人数 992	700	678	657	650	626
②確保量 (登録人数)		913	913	913	913	913

【確保方策】

平成26年度の登録人数の実績は 913人であるため、現在の確保量を実績に応じ、推移を見守りながら、適宜、確保策に努めます。